

建設産業情報（最近の動向）
（2014年8月1日～8月31日）

在外公館名 在サウジアラビア日本大使館

記入日 2014年9月3日

1. 現地の建設工事に係る経済情報（建設投資の状況に関する月例報告など）
該当なし

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向
該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	海水淡水化公社（SWCC）は、ヤンブー3に建設中の世界最大の海水淡水化プラントに使用する6つのユニットのうち、2つ目が到着したと発表した。1つめは5月に設置されており、2つ目は今週末までに設置される予定。本プラントが完成すれば、日量55万m ³ の水をマディーナ州へ供給する。3つ目と4つ目は11月に、5つ目と6つ目は2016年の前半までに設置される予定。	5日 ア紙
2	ムハンマド・ビン・ハーリド・アル＝スワイク・サウジ鉄道機構総裁は、5日にリヤド＝ダンマン鉄道事業の第一段階（3.91億\$）を実施する企業と契約を結んだ。実施期間は2年で延長は214kmである。	6日 リヤド紙、エクサディア紙
3	ペットボトルウォーターを販売する主な水会社3社が、値上げ（5リットルボトルで最大2SR）を行い、消費者を驚かせた。投資者は、夏季は消費が増大するため、値上げは当然の結果であると述べた。	7日 ア紙
4	ビンラディン・グループは、グランド・モスク拡張工事の一部として高さ420mの2つのミナレットを建設中であるが、これらによってその地域のザムザム水が枯渇する恐れがあることが研究でわかった。	7日 サ紙
5	サルマン・アル＝ジェマイエイ・マッカ交通警察署長は、交通規制を行うためにセンサー付きの信号を設置する協定を地方自治体と締結したと述べた。これによって赤信号で待つ車の台数によって赤信号の時間が調整されるようになる。	8日 サ紙
6	オサマ・イブラヒム・アブド・ジッダ・メトロ社社長は、建設に450億SRを費やすジッダ・メトロが2022年までに運転を開始すると述べた。また、公共交通機関が都市交通の30%をカバーすることが目的と述べた（現在	8日 ア紙

	2%)。	
7	サウジ鉄道公社の職員育成のために、ブライダに新しい研修所（サウジ鉄道工業短大）が設置された。イギリスの専門学校がサウジのいくつかの大学と連携しながら運営する。対象年齢は19～23歳までで、最大3000人の生徒が学べる。	12日 ア紙
8	ホサイン水電力大臣は、サウジの各地における上下水道事業全33件、総額4億8500万SRの契約に調印した。人口増加に合わせた基本的インフラの整備を改善することが目的である。	12日 リヤド紙
9	都市村落省は、洪水防止及び排水計画事業に関して、総額89.37億SR(2.382億\$)の契約を締結した。	13日 MEED
10	180km/hで走行するリヤドーダンマン高速鉄道用の新規旅客車両（スペインのCAF社製）が、今年11月初めにサウジに納品される。11月終わりにかけて計4両が納品され、残りは12月になる。	16日 ア紙
11	ファハド・ビン・アブドゥラー民間航空総局総裁は、アブドゥルアジズ国王国際空港の拡張工事は69%完了したと述べた。2016年初旬までにオープンする予定。また、2020年までにサウジ全土の空港の許容量を1億人にすることを目標としている。	17日 ア紙
12	イスラム教徒が海外旅行をする際に最も重要なことは、ハラール生活を送るための環境が整っていることであると、サウジ人の86%が述べた。	20日 サ紙
13	水公社（NWC）は、2016年末には戦略的貯水施設が完成し、ジッダの水不足問題は解決すると述べた。ジッダには現在110万m ³ /日の水が供給されている。	21日 サ紙
14	ジッダ市は、公園や緑地を維持管理・改善するために毎年2億SRの予算をかけているが、現在実施中のメガ・プロジェクトによって水道網が破壊され、水漏れが起きている。	22日 サ紙
15	スワイクSRO総裁は、アメリカで製造された550車両が届き次第、リヤドーダンマン鉄道を時速60kmから100kmに上昇させると述べた。	27日 リヤド紙、エクサディア紙

(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

労働に関する報道

2日 観光業において外国人労働者が60%を占める。観光業者によると、観光業はサウジ人にも可能な業種ではあるが、訓練や経験が不足しているとのこと。ジッダの経済フォーラムで行われた調査では、若年層の80%が観光業で働きたい意向を示しているという結果であっ

た。(サ紙)

- 3日 商工業省によると、女性による商業登記数が2012年の44,047件と比較して2013年は54,231件に増加した。女性の商業部門への投資が30億SRに達し、女性が所有する企業は全体の4.3%を占める。(サ紙)
- 4日 ジッダのペットボトルウォーター製造工場が過去5年で合計100棟閉鎖した。これらの多くは、労働省が定めた20%という高いサウジ人率を満たせなかったため、閉鎖せざるを得なかった。(ア紙)
- 4日 サウジアラビア労働省は、サウジ人女性職員を雇用する民間企業に対し、同職員に交通手段を手配することを義務付ける予定であることを、同省筋が明らかにした。(ア紙)
- 5日 ニタカットプログラムにより、約20万もの企業が1年間で閉鎖されたと労働省が発表した。現在も36,951もの事業がレッドもしくはイエロー・カテゴリーに分類されている。民間企業はサウジ人を雇用するために少なくとも月給6,000リヤルが必要だと言われている。(ア紙)
- 6日 ニタカットプログラムは255,000もの職をサウジ人に与えたが、様々な開発プロジェクト(建設など)が遅れている。多くの外国人労働者は2013年4月6日から11月3日にかけて帰国を余儀なくされた。(ア紙)
- 6日 労働省は、毎年149億SR(40億\$)を労働市場改革とサウジ人を民間企業に就職させるために使用してほしいと政府に要求している。(ア紙)
- 7日 エクサディア紙によれば、GCC加盟国在住の外国人は、今年の11月からGCC加盟国のどこでも旅行し、居住し、かつ働くことができるようになる可能性があるとの報道した。しかし、国内労働者の自国民化を進めている国では、外国人労働者が(GCC加盟国内を)自由に移動し、居住し、働くことに関して、自国民化を妨げることになるのではないかと懸念を示している。(往電第2579号)(サ紙・ア紙)
- 8日 King Abdulaziz Center for National Dialogueの調査では、サウジ人労働者のうち23%は現在の仕事を続ける気がなく、42%はより良い仕事があれば現在の仕事を辞める気があるという結果になった。(ア紙)
- 11日 巡礼月に合わせて、The General Syndicate for Cars and Pilgrimsが20,000もの季節労働の職の募集を行ったが、114のみ申し込みがあった。サウジ人は運転手や技術者の職種を未だに好まない。(サ紙)
- 11日 労働省が発表したデータによると、民間企業で働くサウジ人数が150万人に達した。雇用された人数を2012年と比較すると、2013年は男性が16%、女性が85%増加した。一方、非サウジ人労働者も12%増加した。(ア紙)
- 11日 UAEやカタールの企業は、サウジから出国した技術と経験のある外国人労働者を雇用することに興味がある。(ア紙)
- 12日 ニタカットによりイエロー・カテゴリーとなった企業で働く外国人は、サウジでの居住期間を最大4年とすることが定められた。サウジ生まれの外国人、熟練労働者も含まれる。10月25日に施行予定。現在1万7000の企業がレッド・カテゴリーで、1万9637の企業がイエロー・カテゴリーである。(ア紙・イクティサーディア紙13日)

- 17日 労働省のある情報筋は、昨年のサウジ人求職者のうち25%がTVTCの適格審査で不合格となったと述べた。
- 20日 サウジ商工会議所のサイド副運輸部門長は、運輸部門のサウジ人従業員率は、労働省が10%とすることと定めたにもかかわらず5%未満であると述べた。また、たとえ800億SRかけたとしても規定値を満たすことは難しいと述べた。(ア紙)
- 28日 労働省は、民間企業に対し、1週間の勤務時間を40時間とし、週休2日にする新規労働法を施行するための手続きが進行中であると述べた。サウジ商工会議所は、週休2日制は経済に大きな負の影響を与えるとして反対し、民間企業が少なくとも従業員を30%増員する必要があると述べた。GCC諸国では、週休2日にする代わりに1日の勤務時間を長くして1週間当たり48時間の勤務時間を保持した国もある。(ア紙、サ紙)

(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)